

令和6年度中予地方局予算事業成果表

1 基本事項

- (1) 事業名 e スポーツ地域生きがいつくり推進事業費
(2) 事業期間 令和6年度～令和7年度
(3) 所 管 健康福祉環境部地域福祉課
(4) 予算額 2,608 千円

2 事業目的

今後、県内では高齢者の増加に伴い、要介護者等が増えることが予測される中、健康寿命を延ばすためには、介護予防や生きがいつくりにつながる社会活動への参加が有効であると考えられるが、本県では、体力がない、友人仲間がない等の理由から、「通いの場」への参加率が10%未満となっており、特に中予が低い。

そこで、年齢、性別、身体能力を問わず広く楽しめるeスポーツを活用し、通いの場へ取り入れるとともに、高齢者がeスポーツに取り組むことによる効果の検証を行い、高齢者の生きがい・健康づくりを支援する。

3 主な取組（何をしたか）

(1) 通いの場でのeスポーツの実施

65歳以上の高齢者を対象に、地区公民館等でeスポーツを実施した。また、事業開始に当たり、3か所で体験会を開催した。

- ・実施期間 令和6年7月～令和7年1月
毎月2回各2時間程度
- ・実施場所 松山市（1地区）、伊予市（2地区）、東温市（2地区）



(2) eスポーツによる効果検証の実施

愛媛県立医療技術大学と連携し、eスポーツの体験を通じて健康意識の変化や機能面の効果を検証した。

- ・効果検証 初回と最終回に効果測定を実施
- ・効果検証者 32名（男性9名、女性23名）

4 成果（何がどう変わったか）

本事業の総参加者数は104名で、85歳以上の参加者も10名を超えるなど、幅広い年齢層の方々に参加していただくことができた。

性別では、男性の参加率が20.2%であり、令和4年度の県内通いの場の男性参加率（15.8%）に比べ、eスポーツ導入による男性参加率の向上が見られた。

また、健康意識の変化や機能面の効果を検証したところ、アンケート結果（健康状態や意識、心身状態）及び構成力・反射テスト（音・光）において良好な変化が見られ、特に反射テストについては統計学的にも有意な結果を示していることから、本事業が高齢者の意識面・機能面の維持向上に寄与した可能性が高いという結果が出た。